

保渡田古墳群 & 箕郷梅林報告

【山行日】2020年 3月 18(水) 晴れ
【集 合】三義山公園東P AM 8:30
【費 用】マイカー2台 : 2,600円
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、石田、島田、関、田村、福田、松葉、渡辺、
【コースタイム】三義山公園東 P8:30=
上毛野はにわの里公園 9:20/10:40=
箕郷梅林蟹沢 11:00/11:50=箕郷梅林善地
12:00/13:00=卯太郎 13:15/13:30=
三義山公園東 P14:20



去年のテレビ番組で古墳ウォークの番組があり、高崎市の八幡塚古墳が紹介されていた。群馬県にこんなに素晴らしい古墳があるのを知り、いつか行ってみたいと場所を調べておいた。今年になってJR東日本の大人の休日倶楽部CMで、吉永小百合さんが大室古墳群を見学し八幡塚古墳の映像が映された。この映像を見て「CMの古墳を見に行きたい」と言う要望があり、保渡田古墳群と箕郷梅林を見学する計画を立てた。東北道から北関東道、関越道を進み、前橋ICで降りて県道10号線を進み井出交差点を右折すると上毛野はにわの里公園に着く。駐車場に車を止め、まずは公園内にある「かみつけの里博物館」に入り、保渡田古墳群の成り立ちや古墳について学習する。博物館の展示室に入るとまず「榛名山東南麓古墳社会推定復元模型」で、1500年前の様子が1/500で復元され、解説映像と併せて当時の生活を学習できる。当時の榛名山東南麓には東日本でも有数の勢力を誇った王の本拠地があった。これまでの発掘調査によって、王が政治や祭祀を行なった巨大な館「三ッ寺遺跡」、王族が眠る大型の前方後円墳や王の配下達が葬られた小古墳群や、王と民の経済を支えた水田や畑など当時の社会要素のほとんどが揃って発見された。5世紀末と6世紀前半の2度にわたる榛名山の火山被害に遭い、火山灰にパックされた状態で埋もれていたという。1500年前にこれほど大きなムラが関東に存在し、王が眠る大型の前方後円墳が発見されたことは奇跡に近いこと



博物館の展示室に入るとまず「榛名山東南麓古墳社会推定復元模型」で、1500年前の様子が1/500で復元され、解説映像と併せて当時の生活を学習できる。当時の榛名山東南麓には東日本でも有数の勢力を誇った王の本拠地があった。これまでの発掘調査によって、王が政治や祭祀を行なった巨大な館「三ッ寺遺跡」、王族が眠る大型の前方後円墳や王の配下達が葬られた小古墳群や、王と民の経済を支えた水田や畑など当時の社会要素のほとんどが揃って発見された。5世紀末と6世紀前半の2度にわたる榛名山の火山被害に遭い、火山灰にパックされた状態で埋もれていたという。1500年前にこれほど大きなムラが関東に存在し、王が眠る大型の前方後円墳が発見されたことは奇跡に近いこと

これまでの発掘調査によって、王が政治や祭祀を行なった巨大な館「三ッ寺遺跡」、王族が眠る大型の前方後円墳や王の配下達が葬られた小古墳群や、王と民の経済を支えた水田や畑など当時の社会要素のほとんどが揃って発見された。5世紀末と6世紀前半の2度にわたる榛名山の火山被害に遭い、火山灰にパックされた状態で埋もれていたという。1500年前にこれほど大きなムラが関東に存在し、王が眠る大型の前方後円墳が発見されたことは奇跡に近いこと



だ。

二子山古墳・八幡塚古墳・薬師塚古墳の3つの前方後円墳が発掘され、昭和60年9月に国指定史跡となり、「上毛野はにわの里公園」として整備された。



かみつけの里博物館で学習したら外に出て、道路を渡り八幡塚古墳を見学する。八幡塚古墳は5世紀後半に築造された大きな前方後円墳で、発掘調査の結果に基づいて、作られた当時の形に復元されている。往時の古墳は石と埴輪で飾られ、後円部の頂上から石室内部に降りられ内部を見学できる。そこから戻って南側にある二子山古墳に向かう。二子山古墳は保渡田古墳群の中で最初に造られた古墳で、5世紀第3四半期に築造されたそうだ。

昭和5年に後藤守一氏が初めて発掘し、内堤から埴輪片等が多数発見された。三段に築かれた墳丘は斜面に葺石が積まれ、斜面間の平坦部には円筒埴輪が並べられていたそうだ。

復元整備では葺石は積まず、コグマ笹が植えられている。墳丘の前方部から後円部に登り、墳丘の周りを見学したらベンチで休憩しオヤツタイム。熱いコーヒーに手作りのチーズケーキをいただき、古の人々の暮らしに思いをはせる。オヤツタイムが済んだら駐車場に戻り、上毛野はにわの里公園を後にして箕郷梅林に向かう。群馬県は東日本最大の梅の産地で、群馬県三大梅林に数えられる箕郷梅林



は「天空の梅祭り」が開催されている。梅祭り会場は善地梅林と蟹沢梅林の二つあり、まずは蟹沢梅林公園から見学する。駐車場に入ると駐車料金500円を払い、案内マップと小梅の梅干しを1袋いただける。マップに従い梅林を散策するが、今年は開花が異常に早くすでに見頃は過ぎていた。それでも半分くらい梅の花が残っており、梅の香りを楽しみながら梅林の中を散策する。通りに出ると売店が並んでおり、お土産を買いながら食事処に入る。けんちんうどん

や焼きそば、焼きまんじゅうなど好きなものをオーダーし、空いたお腹を満たした。女性達は売店での買い物に夢中で、なかなか戻ってこない。ようやく戻ってきたら車に乗り、次の善地梅林会場へ移動する。車で10分足らずの場所にあり、こちらも梅まつり期間中は駐車料金500円を払う。駐車所の隣にイベント広場があり、土日は色々なイベントが企画されている。イベント広場の一角に

展望台があり、河津桜や梅の花を上から見られ榛名山や赤城山の景色も素晴らしい。

案内マップに従って散策コースを歩き、観梅コースからパノラマコースまで1周する。梅林は梅の



花を間近に見ながら歩け、パノラマコースは道路歩きだが展望が良く、榛名山や赤城山と山麓の梅の花がとても綺麗だ。イベント広場のベンチでティータイムとし、花を見ながら温かいお茶とチョコレートケーキをいただき帰路につく。帰りは「卵太郎」に寄り、新鮮な卵とシュークリーム、卵プリンをお土産に買い三轟山公園に向かう。

復路は前橋ICから高速道を走り、予定よりも早く三轟山公園東Pに帰着した。

